

基本計画書

基本計画書										
事項		記入欄						備考		
計画の区分		研究科の専攻に係る課程の変更								
フリガナ設置者		コリツカ`イグ`カクジ`ン ヒツバ`シガ`イグ`ク 国立大学法人 一橋大学								
フリガナ大学の名称		ヒツバ`シガ`イグ`クダ`イグ`クイン 一橋大学大学院								
大学本部の位置		東京都国立市中二丁目1番地								
大学の目的		充実した研究基盤を確立し、新しい社会科学の探究と創造の精神のもとに、独創性に富む知的、文化的資産を開発、蓄積し、広く公開する。実務や政策、社会や文化との積極的な連携を通じて、日本及び世界に知的、実践的に貢献する。豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成する。								
新設研究科等の目的		現代のビジネスや社会が直面する様々な課題を解決する上で、社会科学とデータサイエンスを融合させたソーシャル・データサイエンスという学術領域が注目を集めている。一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科博士後期課程では、社会科学とデータサイエンスが融合するソーシャル・データサイエンスの学問分野において、自らが創出した最先端の知識を活用し、ビジネス革新や社会課題解決を実現できるソーシャル・データサイエンスの研究開発人材の養成を目指す。								
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部等】 ソーシャル・データサイエンス学部 【基礎となる修士課程】 ソーシャル・データサイエンス研究科ソーシャル・データサイエンス専攻（修士課程）
	ソーシャル・データサイエンス研究科 (Graduate School of Social Data Science) ソーシャル・データサイエンス専攻 (Major in Social Data Science) (博士後期課程) 計	年 3	人 7	年次人 —	人 21	博士（ソーシャル・データサイエンス） (Doctor of Philosophy in Social Data Science)	経済学・工学	年月 第 年次 令和7年4月第1年次	東京都国立市中二丁目1番地	
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		○研究科の専攻に係る課程の変更による新規設置 ソーシャル・データサイエンス研究科 博士後期課程 ソーシャル・データサイエンス専攻 (7) (令和6年3月意見伺い) ※ 令和7年4月より、基礎となるソーシャル・データサイエンス研究科修士課程を、 ソーシャル・データサイエンス研究科博士前期課程に改める ○入学定員の変更 経営管理研究科 修士課程 経営管理専攻〔定員増〕 (6) (令和7年4月) 言語社会研究科 修士課程 言語社会専攻〔定員減〕 (△3) (令和7年4月) 経営管理研究科 博士後期課程 経営管理専攻〔定員減〕 (△5) (令和7年4月) 法学研究科 博士後期課程 法学・国際関係専攻〔定員減〕 (△2) (令和7年4月) 社会学研究科 博士後期課程 総合社会科学専攻〔定員減〕 (△2) (令和7年4月)								
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数						修了要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計					
	ソーシャル・データサイエンス研究科 ソーシャル・データサイエンス専攻（博士後期課程）	2 科目	8 科目	0 科目	10 科目	16 単位				
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員（助手を除く）		
		教授	准教授	講師	助教	計				
新設分	ソーシャル・データサイエンス研究科 ソーシャル・データサイエンス専攻 (博士後期課程)	人 8 (8)	人 10 (10)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 18 (18)	人 0 (0)	人 0 (0)		
	計	8 (8)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	0 (0)		

既	経営管理研究科	36	21	16	0	73	7	22
	経営管理専攻（修士課程）	(38)	(15)	(14)	(0)	(67)	(7)	(22)
	経営管理専攻（博士後期課程）	36	21	16	0	73	7	22
		(38)	(15)	(14)	(0)	(67)	(7)	(22)
	国際企業戦略専攻（博士後期課程）	7	6	3	0	16	0	10
		(7)	(5)	(3)	(0)	(15)	(0)	(10)
	国際企業戦略専攻（専門職学位課程）	7	6	3	0	16	0	10
		(7)	(5)	(3)	(0)	(15)	(0)	(10)
	経済学研究科	40	23	16	2	81	0	26
	総合経済学専攻（修士課程）	(40)	(23)	(16)	(2)	(81)	(0)	(26)
	総合経済学専攻（博士後期課程）	40	23	16	2	81	0	26
		(40)	(23)	(16)	(2)	(81)	(0)	(26)
	法学研究科	9	4	3	0	16	0	18
	法学・国際関係専攻（修士課程）	(9)	(4)	(3)	(0)	(16)	(0)	(18)
	法学・国際関係専攻（博士後期課程）	9	4	3	0	16	0	17
		(9)	(4)	(3)	(0)	(16)	(0)	(17)
	ビジネスロー専攻（修士課程）	7	2	1	0	10	0	31
		(7)	(2)	(1)	(0)	(10)	(0)	(31)
	ビジネスロー専攻（博士後期課程）	7	2	1	0	10	0	31
		(7)	(2)	(1)	(0)	(10)	(0)	(31)
	法務専攻（専門職学位課程）	17	4	0	0	21	1	41
		(17)	(4)	(0)	(0)	(21)	(1)	(41)
設	社会学研究科	3	1	3	0	7	0	0
	地球社会研究専攻（修士課程）	(3)	(1)	(3)	(0)	(7)	(0)	(0)
	地球社会研究専攻（博士後期課程）	3	1	3	0	7	0	0
		(3)	(1)	(3)	(0)	(7)	(0)	(0)
	総合社会科学専攻（修士課程）	34	1	7	0	42	6	9
		(34)	(1)	(7)	(0)	(42)	(6)	(9)
	総合社会科学専攻（博士後期課程）	34	1	7	0	42	6	9
		(34)	(1)	(7)	(0)	(42)	(6)	(9)
	言語社会研究科	10	5	2	0	17	2	27
	言語社会専攻（修士課程）	(10)	(2)	(5)	(0)	(17)	(2)	(26)
	言語社会研究科	10	5	2	0	17	2	27
	言語社会専攻（博士後期課程）	(10)	(2)	(5)	(0)	(17)	(2)	(26)
	ソーシャル・データサイエンス研究科	8	10	0	0	18	0	2
	ソーシャル・データサイエンス専攻（修士課程）	(8)	(10)	(0)	(0)	(18)	(0)	(2)
	国際・公共政策教育部	12	6	1	0	19	0	0
	国際・公共政策専攻（専門職学位課程）	(12)	(8)	(1)	(0)	(19)	(0)	(0)
	森有礼高等教育高度化国際流動化機構	6	4	5	1	16	5	128
		(6)	(4)	(5)	(1)	(16)	(5)	(128)
分	社会科学高等研究院	1	0	9	0	10	0	28
		(1)	(0)	(9)	(0)	(10)	(0)	(28)
	計	190	87	66	3	346	21	-
		(192)	(79)	(67)	(3)	(339)	(21)	(-)
	合 計	198	97	66	3	364	21	-
		(200)	(89)	(67)	(3)	(357)	(21)	(-)
	職 種	専 属			その他		計	
	事 務 職 員	235 (235)			人 222 (222)		人 457 (457)	
	技 術 職 員	6 (6)			0 (0)		6 (6)	
	図 書 館 職 員	23 (23)			0 (0)		23 (23)	
	そ の 他 の 職 員	0 (0)			0 (0)		0 (0)	
	指 導 補 助 者	0 (0)			0 (0)		0 (0)	
	計	264 (264)			222 (222)		486 (486)	

校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地		182,783㎡	0㎡	0㎡		182,783㎡				
	そ の 他		237,726㎡	0㎡	0㎡		237,726㎡				
	合 計		420,509㎡	0㎡	0㎡		420,509㎡				
校 舎			専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
			167,157㎡ (167,157㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)		167,157㎡ (167,157㎡)				
講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室			講義室	実験・実習室	演習室		新設研究科等の 専任教員研究室				
			82室	6室	95室		18 室				
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称		図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具	標本	研究科単位での 特定が不可能な ため、大学全体 の数		
			冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点			
	ソーシャル・データ サイエンス研究科		3,140,983 [1,595,476] (3,107,143 [1,579,051])	301,092 [289,665] (287,769 [277,038])	57,331 [45,205] (57,331 [45,205])	32,438 [32,350] (32,438 [32,350])	0 (0)	0 (0)			
	計		3,140,983 [1,595,476] (3,107,143 [1,579,051])	301,092 [289,665] (287,769 [277,038])	57,331 [45,205] (57,331 [45,205])	32,438 [32,350] (32,438 [32,350])	0 (0)	0 (0)			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の 見 積 り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	国費による	
		教員1人当り研究費等			—	—	—	—	—		
		共同研究費等			—	—	—	—	—		
		図書購入費		—	—	—	—	—	—		
	学生1人当り 納付金		—	—	—	—	—	—			
			—	—	—	—	—	—			
学生納付金以外の維持方法の概要			—								
大 学 等 の 名 称	一橋大学										※令和5年度入 学定員減（△8 人） ※令和5年度入 学定員減（△9 人） ※令和5年度入 学定員減（△17 人） ※令和5年度入 学定員減（△11 人） ※令和5年度入 学定員減（△15 人） ※令和5年4月 開設
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地		
	商学部	年	人	年次 人	人		1.14 《1.07》	昭和24 年度	東京都国立市中 二丁目1番地		
	経営学科	4	129	0	532	学士（商学）	1.14 《1.07》	昭和50 年度			
	商学科	4	129	0	534	学士（商学）		昭和50 年度			
	経済学部						1.09 《1.03》	昭和24 年度	東京都国立市中 二丁目1番地		
	経済学科	4	258	0	1066	学士（経済学）	1.09 《1.03》	平成10 年度			
	法学部						1.10 《1.05》	昭和26 年度	東京都国立市中 二丁目1番地		
	法律学科	4	159	0	658	学士（法学）	1.10 《1.05》	平成11 年度			
	社会学部						1.18 《1.10》	昭和26 年度	東京都国立市中 二丁目1番地		
	社会学科	4	220	0	910	学士（社会学）	1.18 《1.10》	平成12 年度			
	ソーシャル・データサイエンス学部						1.11 《1.11》	令和5 年度	東京都国立市中 二丁目1番地		
	ソーシャル・データサイエンス学科	4	60	0	120	学士（ソーシャル・データサイエンス）	1.11 《1.11》	令和5 年度			

既設大学等の状況	経営管理研究科							平成30年度	東京都国立市中二丁目1番地	
	経営管理専攻（修士課程）	2	159	0	318	修士（商学）， 修士（経営）	1.05	平成30年度		
	経営管理専攻（博士後期課程）	3	23	0	72	博士（商学）， 博士（経営）	0.88	平成30年度		※令和5年度入学定員減（△3人）
	国際企業戦略専攻（博士後期課程）	3	4	0	12	博士（経営）	1.16	平成30年度		
	国際企業戦略専攻（専門職学位課程）	2	58	0	116	経営修士（専門職）	0.62	平成30年度		
	経済学研究科							昭和28年度	東京都国立市中二丁目1番地	
	総合経済学専攻（修士課程）	2	82	0	164	修士（経済学）	1.00	平成30年度		
	総合経済学専攻（博士後期課程）	3	20	0	62	博士（経済学）	1.00	平成30年度		※令和5年度入学定員減（△2人）
	法学研究科							昭和28年度	東京都国立市中二丁目1番地	
	法学・国際関係専攻（修士課程）	2	15	0	30	修士（法学）	0.86	平成16年度		
	法学・国際関係専攻（博士後期課程）	3	24	0	74	博士（法学）	1.02	平成16年度		※令和5年度入学定員減（△2人）
	ビジネスロー専攻（修士課程）	2	36	0	72	修士（経営法）	1.08	平成30年度		
	ビジネスロー専攻（博士後期課程）	3	11	0	34	博士（経営法）	1.00	平成30年度		※令和5年度入学定員減（△1人）
	法務専攻（専門職学位課程）	3	85	0	255	法務博士（専門職）	0.75	平成16年度		
	社会学研究科							昭和28年度	東京都国立市中二丁目1番地	
	地球社会研究専攻（修士課程）	2	20	0	40	修士（社会学）	0.80	平成9年度		
	地球社会研究専攻（博士後期課程）	3	5	0	16	博士（社会学）	1.58	平成9年度		※令和5年度入学定員減（△1人）
	総合社会科学専攻（修士課程）	2	70	0	140	修士（社会学）	1.05	平成12年度		
	総合社会科学専攻（博士後期課程）	3	32	0	99	博士（社会学）	1.34	平成12年度		※令和5年度入学定員減（△3人）
	言語社会研究科							平成8年度	東京都国立市中二丁目1番地	
	言語社会専攻（修士課程）	2	49	0	98	修士（学術）	1.01	平成8年度		
	言語社会専攻（博士後期課程）	3	19	0	59	博士（学術）	1.47	平成8年度		※令和5年度入学定員減（△2人）
	ソーシャル・データサイエンス研究科						1.04	令和5年度	東京都国立市中二丁目1番地	
	ソーシャル・データサイエンス専攻（修士課程）	2	21	0	42	修士（ソーシャル・データサイエンス）	1.04	令和5年度		
	国際・公共政策教育部						1.15	平成17年度	東京都国立市中二丁目1番地	
	国際・公共政策専攻（専門職学位課程）	2	55	0	110	国際・行政修士（専門職），公共経済修士（専門職）	1.15	平成17年度		

商学研究科							昭和28年度 平成19年度	東京都国立市中二丁目1番地	※平成30年度より学生募集停止
経営・マーケティング専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (商学)	—			
会計・金融専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (商学)	—	平成19年度		
国際企業戦略研究科							平成10年度	東京都千代田区一ツ橋二丁目1番2号	※平成30年度より学生募集停止
経営法務専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (経営法)	—	平成17年度		
経営・金融専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (経営)	—	平成11年度		
附属施設の概要	(附置研究所) 名称 : 経済研究所 目的 : 日本及び世界の経済の総合研究を行うこと。 所在地 : 東京都国立市中二丁目1番地 設置年月 : 昭和17年2月 規模等 : 建物5,457㎡								
	(学内共同教育研究施設等) 名称 : 森有礼高等教育国際流動化機構 目的 : 日本及びアジアの高等教育の国際的通用性を高め、学生の国際的な流動化の促進に寄与すること。また、機構に以下のセンターを置く。 (全学共通教育センター) 全学部に通ずる教育(基礎教育や教養教育、及び国際交流教育)の運営及び、その改善向上のための研究・開発と教育活動支援 (国際教育交流センター) 外国人留学生に対する日本語・日本事情教育と生活指導、ならびに学生相互の留学交流の推進、日本語教育及び国際教育交流に関する研究・開発 (グローバル・オンライン教育センター) インターネットを活用したグローバルなオンライン教育の研究・企画・運営								
	所在地 : 東京都国立市中二丁目1番地 設置年月 : 平成30年8月 規模等 : 東1号館(建物面積 5,951㎡)の一部、国際研究館(建物面積 4,745㎡)の一部、第三研究館(建物面積 2,204㎡)の一部								
	名称 : 情報基盤センター 目的 : 本学の情報システム及びネットワークシステムの整備、運用及び管理並びに情報技術による教育研究支援及びメディア開発を行い、もって本学における教育・研究の向上と、事務処理の効率化に寄与すること。								
	所在地 : 東京都国立市中二丁目1番地 設置年月 : 平成21年4月 規模等 : 建物640㎡								
	名称 : 社会科学古典資料センター 目的 : 一橋大学附属図書館所蔵の社会科学古典資料を集中的に管理運営するとともに社会科学古典資料を収集して、これを研究者の利用に供することにより、社会科学の向上に寄与すること。								
	所在地 : 東京都国立市中二丁目1番地 設置年月 : 昭和53年4月 規模等 : 建物1,110㎡								

(注)

- 1 共同教育課程の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設研究科等の目的」、「新設研究科等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「既設分」については、共同教育課程に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学院の研究科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「講義室等・新設研究科等の専任教員研究室」、及び「図書・設備」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「講義室等・新設研究科等の専任教員研究室」、「図書・設備」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

国立大学法人一橋大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
一橋大学				一橋大学				
商学部				商学部				
経営学科	129	-	516	経営学科	129	-	516	
商学科	129	-	516	商学科	129	-	516	
経済学部				経済学部				
経済学科	258	-	1,032	経済学科	258	-	1,032	
法学部				法学部				
法律学科	159	-	636	法律学科	159	-	636	
社会学部				社会学部				
社会学科	220	-	880	社会学科	220	-	880	
ソーシャル・データサイエンス学部				ソーシャル・データサイエンス学部				
ソーシャル・データサイエンス学科	60	-	240	ソーシャル・データサイエンス学科	60	-	240	
計	955	-	3,820	計	955	-	3,820	
一橋大学大学院				一橋大学大学院				
経営管理研究科				経営管理研究科				
経営管理専攻(M)	159	-	318	経営管理専攻(M)	165	-	330	定員変更(6)
経営管理専攻(D)	23	-	69	経営管理専攻(D)	18	-	54	定員変更(Δ5)
国際企業戦略専攻(D)	4	-	12	国際企業戦略専攻(D)	4	-	12	
国際企業戦略専攻(P)	58	-	116	国際企業戦略専攻(P)	58	-	116	
経済学研究科				経済学研究科				
総合経済学専攻(M)	82	-	164	総合経済学専攻(M)	82	-	164	
総合経済学専攻(D)	20	-	60	総合経済学専攻(D)	20	-	60	
法学研究科				法学研究科				
法学・国際関係専攻(M)	15	-	30	法学・国際関係専攻(M)	15	-	30	
法学・国際関係専攻(D)	24	-	72	法学・国際関係専攻(D)	22	-	66	定員変更(Δ2)
ビジネスロー専攻(M)	36	-	72	ビジネスロー専攻(M)	36	-	72	
ビジネスロー専攻(D)	11	-	33	ビジネスロー専攻(D)	11	-	33	
法務専攻(P)	85	-	255	法務専攻(P)	85	-	255	
社会学研究科				社会学研究科				
地球社会研究専攻(M)	20	-	40	地球社会研究専攻(M)	20	-	40	
地球社会研究専攻(D)	5	-	15	地球社会研究専攻(D)	5	-	15	
総合社会科学専攻(M)	70	-	140	総合社会科学専攻(M)	70	-	140	
総合社会科学専攻(D)	32	-	96	総合社会科学専攻(D)	30	-	90	定員変更(Δ2)
言語社会研究科				言語社会研究科				
言語社会専攻(M)	49	-	98	言語社会専攻(M)	46	-	92	定員変更(Δ3)
言語社会専攻(D)	19	-	57	言語社会専攻(D)	19	-	57	
国際・公共政策教育部				国際・公共政策教育部				
国際・公共政策専攻(P)	55	-	110	国際・公共政策専攻(P)	55	-	110	
ソーシャル・データサイエンス研究科				ソーシャル・データサイエンス研究科				
ソーシャル・データサイエンス専攻(M)	21	-	42	ソーシャル・データサイエンス専攻(M)	21	-	42	
				ソーシャル・データサイエンス専攻(D)	7	-	21	課程変更(認可申請)
計	788	-	1,799	計	789	-	1,799	

教 育 課 程 等 の 概 要																
(ソーシャル・データサイエンス研究科ソーシャル・データサイエンス専攻)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
科 ソ ー シ ャ ル ・ デ ー タ サ イ エ ン ス	SDS研究方法論Ⅰ 責任ある科学技術イノベーション	1①	○	1			○			1						オムニバス オムニバス 集団指導 集団指導 集団指導 集団指導
	SDS研究方法論Ⅱ 研究開発マネジメント論	1②	○	1			○			1						
	SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅠ	1前	○	2				○		8	10					
	SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅡ	1後	○	2				○		8	10					
	SDS共同プロジェクト演習Ⅰ	2前	○	2				○		8	10					
	SDS共同プロジェクト演習Ⅱ	2後	○	2				○		8	10					
	SDS研究指導A	1～3前・後	○		1			○		1	3					
	SDS研究指導B	1～3前・後	○		1			○		2	2					
	SDS研究指導C	1～3前・後	○		1			○		2	2					
	SDS研究指導D	1～3前・後	○		1			○		3	3					
小計（10科目）		—	—	10	4		—			8	10					
合計（10科目）		—	—	10	4		—			8	10					
学位又は称号		博士（ソーシャル・データサイエンス）			学位又は学科の分野				経済学関係、工学関係							
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法									授 業 期 間 等							
（修了要件） 本研究科博士課程の修了要件は、全科目の中から次の科目をすべて修得し、 必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び試験に合格することである。									1 学年の学期区分				4期			
									1 学期の授業期間				7週			
									1 時限の授業の標準時間				105分			
SDS研究方法論Ⅰ 責任ある科学技術イノベーション（1年次春学期必修：1単位×1期） SDS研究方法論Ⅱ 研究開発マネジメント論（1年次夏学期必修：1単位×1期） SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅠ・Ⅱ（1年次春夏学期、秋冬学期必修：2単位×2期） SDS共同プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ（2年次春夏学期、秋冬学期必修：2単位×2期） SDS研究指導（1～3年次春夏学期・秋冬学期必修：1単位×2期×3年 A～Dのいずれか） ※在学期間の特例を適用する場合は、6単位の修得を必須としない																

(注)

1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。

4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校等の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。

5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。

6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。

8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。

9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。

10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。

(1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。

(2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。

(3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

11 高等専門学校等の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

基礎となる学部

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(ソーシャル・データサイエンス学部ソーシャル・データサイエンス学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
全 学 共 通 教 育 科 目	外国語	英語	P A C E I	1前	4				○						兼1	
			P A C E II	1後	4				○						兼1	
			英語 (Introduction to Global Issues・発展)	1・2・3・4①・②・③・④		2			○						兼1	
			英語 (Introduction to Global Issues・標準)	1・2・3・4①・②・③・④		2			○						兼1	
			英語 (Introduction to Global Issues・基礎強化)	1・2・3・4①・②		2			○						兼1	
			英語 (リーディング・基礎強化) I	1・2・3・4前		2			○						兼1	
			英語 (リーディング・標準) I	1・2・3・4前・後		2			○						兼3	
			英語 (リーディング・発展) I	1・2・3・4前		2			○						兼1	
			英語 (ライティング・基礎強化) I	1・2・3・4前		2			○						兼2	
			英語 (ライティング・標準) I	1・2・3・4後		2			○						兼1	
			英語 (ライティング・発展) I	1・2・3・4前		2			○						兼1	
			英語 (ディスカッション・基礎強化) I	1・2・3・4後		2			○						兼1	
			英語 (ディスカッション・標準) I	1・2・3・4後		2			○						兼3	
			英語 (ディスカッション・発展) I	1・2・3・4後		2			○						兼1	
			英語 (L L) I	1・2・3・4後		2			※						兼5	※演習
			海外語学研修 (夏季・ペンシルヴァニア大学A)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (夏季・ペンシルヴァニア大学B)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (夏季・スタンフォード大学)	1・2・3・4休		5			○						兼1	
			海外語学研修 (夏季・カリフォルニア大学デーヴィス校)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (夏季・ボストン大学)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (夏季・グラスゴー大学)	1・2・3・4休		7			○						兼1	
			海外語学研修 (夏季・サセックス大学)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (夏季・ロンドン大学アジア・アフリカ研究院)	1・2・3・4休		4			○						兼1	
			海外語学研修 (夏季・シドニー大学)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (春季・ペンシルヴァニア大学)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (春季・テキサス大学オースティン校)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (春季・カリフォルニア大学アーヴァイン校)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (春季・オレゴン大学)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (春季・サセックス大学)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (春季・ニューサウスウェールズ大学)	1・2・3・4休		6			○						兼1	
			海外語学研修 (春季・クイーンズランド大学)	1・2・3・4休		7			○						兼1	
			海外語学研修 (春季・モナシュ大学)	1・2・3・4休		7			○						兼1	
			UPENN国内英語研修	1・2・3・4休		2			○						兼1	
			英語 (リーディング・基礎強化) II	1・2・3・4後		2			○						兼1	
			英語 (リーディング・標準) II	1・2・3・4後		2			○						兼2	
			英語 (リーディング・発展) II	1・2・3・4前		2			○						兼1	
			英語 (ライティング・基礎強化) II	1・2・3・4後		2			○						兼1	
			英語 (ライティング・標準) II	1・2・3・4後		2			○						兼3	
			英語 (ライティング・発展) II	1・2・3・4前		2			○						兼1	
			英語 (ディスカッション・基礎強化) II	1・2・3・4前		2			○						兼2	
		英語 (ディスカッション・標準) II	1・2・3・4①		2			○						兼2		
		英語 (ディスカッション・発展) II	1・2・3・4前		2			○						兼1		
		英語 (L L) II	1・2・3・4前		2			※						兼4	※演習	
		英語 (資格試験) II	1・2・3・4前・後		2			○						兼3		
		英語 (資格試験・コミュニケーション・標準)	1・2・3・4前・後		2			○						兼1		
		英語 (資格試験・コミュニケーション・発展)	1・2・3・4前・後		2			○						兼2		
		英語 (リーディング) III	1・2・3・4前		2			○						兼1		
		英語 (ライティング) III	1・2・3・4後		2			○						兼1		
		英語 (ディスカッション) III	1・2・3・4前		2			○						兼1		

基礎となる学部

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	英語	EDGE (Academic Listening and Note Taking・中級)	2・3・4①②		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Academic Writing・中級)	2・3・4①		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Autonomous Language Learning: Lis/Sp)	2・3・4①		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Autonomous Language Learning: Re/Wr)	2・3・4②		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Business Meetings・中級)	2・3・4②③		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Business Presentations・中級)	2・3・4①		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Critical Thinking with TED・初級)	2・3・4③④		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Cross-cultural Speech Acts・中級)	2・3・4①②		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Cultural Awareness・中級)	2・3・4④		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Current Issues in the Media・中級)	2・3・4④		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Current Issues in the Media・中級)	2・3・4④		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Discussion Lab・初級)	2・3・4①②		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Email Writing・中級)	2・3・4②		2		○							兼1	
	英語	EDGE (English for Negotiations・中級)	2・3・4③		2		○							兼1	
	英語	EDGE (English for Sales & Purchasing・初級)	2・3・4③		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Mastering Speaking・中級)	2・3・4④		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Presentation Lab・初級)	2・3・4③		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Reading and Vocabulary・中級)	2・3・4③④		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Skills for the TOEIC)	2・3・4④		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Social Issues・中級)	2・3・4②③④		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Speaking for Everyday Situations・初級)	2・3・4①②		2		○							兼1	
	英語	EDGE (Speaking for Everyday Situations・中級)	2・3・4③④		2		○							兼1	
英語	EDGE (Working Across Cultures・初級)	2・3・4④		2		○							兼1		
	小計 (72科目)		8	208	0				0	0	0	0	0	兼33	
日本語	日本語中級 (口頭表現)	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	日本語中級 (文章表現)	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	日本語中級 (読解)	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	日本語中級 (漢字語彙)	1・2・3・4後		2		○								兼2	
	日本語中上級 (口頭表現)	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	日本語中上級 (文章表現)	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	日本語中上級 (読解)	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	日本語中上級 (文法)	1・2・3・4後		2		○								兼2	
	日本語中上級 (漢字語彙)	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	日本語上級 (口頭表現) I	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	日本語上級 (口頭表現) II	1・2・3前		2		○								兼1	
	日本語上級 (文章表現) I	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	日本語上級 (文章表現) II	1・2・3後		2		○								兼1	
	日本語上級 (学術文章表現)	1・2・3前		2		○								兼2	
	日本語上級 (読解) I	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	日本語上級 (読解) II	1・2・3前		2		○								兼1	
	日本語上級 (速読)	1・2・3後		2		○								兼1	
	日本語上級 (近代文語文講読)	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	日本語上級 (文法)	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	日本語 I	1・2・3・4前		4		※								兼2	※演習
	日本語 II	1・2・3・4後		4		○								兼2	
	日本語上級 (学術口頭表現)	1・2・3後		2		○								兼1	
	小計 (22科目)	-	0	48	0				0	0	0	0	0	兼14	
その他の外国語	ドイツ語初級 (総合) I	1・2・3・4前		4		○								兼6	
	ドイツ語初級 (総合) II	1・2・3・4後		4		○								兼6	
	ドイツ語初級 (速修) I	1・2・3・4前・後		2		○								兼8	
	ドイツ語初級 (速修) II	1・2・3・4②④・後		2		○								兼5	
	フランス語初級 (総合) I	1・2・3・4前		4		○								兼3	
	フランス語初級 (総合) II	1・2・3・4後		4		○								兼3	
	フランス語初級 (速修) I	1・2・3・4前		2		○								兼3	
	フランス語初級 (速修) II	1・2・3・4後		2		○								兼3	
	フランス語初級 (実践) I	1・2・3・4前		2		○								兼2	
	フランス語初級 (実践) II	1・2・3・4後		2		○								兼2	
	ロシア語初級 (総合) I	1・2・3・4前		4		○								兼2	
	ロシア語初級 (総合) II	1・2・3・4後		4		○								兼2	
	中国語初級 (総合) I	1・2・3・4前		4		○								兼5	
	中国語初級 (総合) II	1・2・3・4後		4		○								兼5	
	中国語初級 (速修) I	1・2・3・4前		2		○								兼2	
	中国語初級 (速修) II	1・2・3・4後		2		○								兼2	
	中国語初級 (実践) I	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	中国語初級 (実践) II	1・2・3・4後		2		○								兼1	

基礎となる学部

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学 共通 教育 科目	外国語 その他の外国語	スペイン語初級（総合）Ⅰ		4		○								兼2	※演習		
		スペイン語初級（総合）Ⅱ		4		○								兼2			
		スペイン語初級（速修）		4		○								兼1			
		スペイン語初級（速修）Ⅰ		2		○								兼2			
		スペイン語初級（速修）Ⅱ		2		○								兼2			
		スペイン語初級（実践）Ⅰ		2		○								兼1			
		スペイン語初級（実践）Ⅱ		2		○								兼1			
		朝鮮語初級（総合）Ⅰ		4		○								兼1			
		朝鮮語初級（総合）Ⅱ		4		○								兼1			
		朝鮮語初級（速修）Ⅰ		2		○								兼1			
		朝鮮語初級（速修）Ⅱ		2		○								兼1			
		朝鮮語初級（実践）Ⅰ		2		○								兼1			
		朝鮮語初級（実践）Ⅱ		2		○								兼1			
		ドイツ語中級	1・2・3・4前・後	2		○								兼5			
		ドイツ語中級（短期海外語学研修準備）	1・2・3・4前	1		○								兼1			
		ドイツ語短期海外語学研修	1・2・3・4休	6		○								兼1			
		ドイツ語上級	1・2・3・4前・後	2		○								兼2			
		フランス語中級	1・2・3・4後	2		○								兼5			
		フランス語中級（短期海外語学研修準備）	1・2・3・4後	1		○								兼1			
		フランス語短期海外語学研修	1・2・3・4休	6		○								兼1			
		フランス語上級	1・2・3・4前	2		○								兼3			
		ロシア語初級（速修）Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		ロシア語初級（速修）Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		ロシア語中級	1・2・3・4後	2		○								兼3			
		ロシア語上級	1・2・3・4前	2		○								兼2			
		中国語中級（会話）	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		中国語中級（講読）	1・2・3・4前	2		○								兼2			
		中国語中級（作文）	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		中国語中級（HSK・中検対策）	1・2・3・4前	2		※								兼1			
		中国語上級（会話）	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		中国語上級（講読）	1・2・3・4前	2		○								兼2			
		スペイン語中級	1・2・3・4前	2		○								兼3			
		スペイン語上級	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		朝鮮語中級	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		朝鮮語上級	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		アラビア語初級Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		アラビア語初級Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		アラビア語中級	1・2・3・4前	2		○								兼2			
		ラテン語初級Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		ラテン語初級Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		ラテン語中級Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		ラテン語中級Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		ラテン語上級Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		ラテン語上級Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		ギリシア語初級Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		ギリシア語初級Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		ギリシア語中級Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		ギリシア語中級Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		ギリシア語上級Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1			
		ギリシア語上級Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1			
		小計（68科目）	-	0	168	0			0	0	0	0	0	兼62			
		数 理 ・ 情 報	数 学	線形代数Ⅰ	1前・後	2		○								兼13	※演習 ※演習 隔年 隔年
				線形代数Ⅱ	1①・前・後	2		○								兼10	
				微分積分Ⅰ	1前・後	2		○								兼13	
				微分積分Ⅱ	1前・後	2		○								兼10	
				線形代数演習	1・2・3・4後	2		※								兼2	
				微分積分演習	1・2・3・4前	2		※								兼2	
				線形代数統論	1・2・3・4前	2		○								兼1	
				微分積分統論A	1・2・3・4前	2		○								兼1	
				微分積分統論B	1・2・3・4後	2		○								兼1	
				集合と位相Ⅰ	1・2・3・4前・後	2		○								兼4	
				集合と位相Ⅱ	1・2・3・4後	2		○								兼1	
				確率	1・2・3・4前・後	2		○								兼5	
				統計	1前・後	2		○			1					兼2	
				数学概論	1・2・3・4前・休	2		○								兼2	
				確率統論	1・2・3・4後	2		○								兼1	
				計画数学Ⅰ	1・2・3・4後	2		○								兼1	
				数理論理学	1・2・3・4後	2		○								兼1	
小計（17科目）	-			18	16	0			0	1	0	0	0	兼31			
情 報	プログラミング基礎		1後	2		○			1				兼5				
	情報リテラシー		1前・後	2			○		1				兼2				
	AⅠ入門		1前	2			○		1				兼1				
	小計（3科目）		-	6	0	0			0	1	0	0	0		兼6		

基礎となる学部

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通教育科目	数理科・情報	生命科学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1	隔年	
		物質科学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		物理学基礎	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		環境科学Ⅰ	1・2・3・4②	2		○								兼1		
		生態学	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		自然科学史（西洋）	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		自然科学史（東洋）	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		地球環境システム	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		地球科学	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		宇宙科学	1・2・3・4④	2		○								兼1		
		サイエンス工房（物理学）A	1・2前	2		※								兼1		
		サイエンス工房（物理学）B	1・2後	2		※								兼1		
		サイエンス工房（地球科学）A	1・2①	2		※								兼1		
		サイエンス工房（地球科学）B	1・2休	2		※								兼1		
		サイエンス工房（環境科学）A	1・2②	2		※								兼1		
		サイエンス工房（環境科学）B	1・2④	2		※								兼1		
		自然地理学	1・2・3・4①	2		○								兼1		
		環境科学Ⅱ	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		緑の科学	1・2・3・4前	2		※								兼1		
	小計（19科目）	-	0	38	0				0	0	0	0	0	兼13		
	運動文化	スポーツ方法（春夏）Ⅰ	1・2・3・4前	1			○							兼8	※演習	
		スポーツ方法（秋冬）Ⅰ	1・2・3・4後	1			○							兼6		
		スポーツ演習	1・2・3・4前・後	2		※								兼5		
		現代社会とスポーツA	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		スポーツ方法（バスケットボール）Ⅱ	1・2・3・4後	1		○								兼1		
		地域社会とスポーツA	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		ヒューマンセクソロジー	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		スポーツトレーニング論	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		スポーツ方法（ヨガ）Ⅱ	1・2・3・4前・後	1		○								兼1		
		スポーツ方法（古武術）Ⅱ	1・2・3・4前・後	1		○								兼1		
		スポーツ方法（東洋的身体技法）Ⅱ	1・2・3・4前・後	1		○								兼1		
		小計（11科目）	-	0	16	0				0	0	0	0	0	兼12	
		人文学	哲学・思想	古典講読入門（哲学・思想）	1・2・3・4前・後	2		○								兼2
心理学				1・2・3・4後	2		○								兼3	
現代思想	1・2・3・4後			2		○								兼1		
論理学	1・2・3・4後			2		○								兼1		
言語学	1・2・3・4前			2		○								兼1		
小計（5科目）	-		0	8	0				0	0	0	0	0	兼6		
歴史学	西洋古典の世界（ギリシア）		1・2・3・4前	2		○								兼1	隔年	
	西洋古典の世界（ラテン）		1・2・3・4後	2		○								兼1		
	宗教と文化（近現代）		1・2・3・4後	2		○								兼1		
	古文書（近世）A		1・2・3・4前	2		○								兼1		
	古文書（近世）B	1・2・3・4後	2		○								兼1			
	古典講読入門（歴史学）	1・2・3・4前	2		○								兼2			
	台湾の歴史と社会	1・2・3・4後	2		○								兼1			
	朝鮮の歴史と文化A	1・2・3・4前	2		○								兼1			
	朝鮮の歴史と文化B	1・2・3・4後	2		○								兼1			
小計（9科目）	-	0	18	0				0	0	0	0	0	兼7			
文学	ドイツ語圏文学	1・2・3・4前	2		○								兼1	隔年		
	中国文学	1・2・3・4後	2		○								兼1	隔年		
	外国人留学生のための日本事情A	1・2・3・4後	2		○								兼1			
	国語	1・2・3・4後	2		○								兼1	隔年		
	日本の言語文化	1・2・3・4後	2		○								兼1	隔年		
	ロシア・東欧文学	1・2・3・4後	2		○								兼1			
	古典講読入門（文学）	1・2・3・4後	2		○								兼2			
	英語圏文学	1・2・3・4後	2		○								兼2			
小計（8科目）	-	0	16	0				0	0	0	0	0	兼9			
人間科学	美術論（西洋）	1・2・3・4後	2		○								兼1			
	美術論（日本・東洋）	1・2・3・4前	2		○								兼1			
	日本語研究入門	1・2・3・4前	2		○								兼1			
	音楽論（西洋）	1・2・3・4後	2		○								兼1			
	音楽論（日本・東洋）	1・2・3・4後	2		○								兼1			
	現代日本語論	1・2・3・4前	2		○								兼2			
	知的生活の健康科学	2・3・4後	2		○								兼1			
	英語学（英語学概論）	1・2・3・4前	2		○								兼1			
	英語学（英語学各論）	1・2・3・4後	2		○								兼1			
	映像文化論	1・2・3・4前	2		○								兼1			
	小計（10科目）	-	0	20	0				0	0	0	0	0		兼8	

基礎となる学部

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修 修	選択 択	自由 由	講義 義	演習 習	実験・実習 ・実習	教授 授	准教授 授	講師 師	助教 教	助手 手		
全学共通教育科目	人文学 総合	英語圏の社会と文化	1・2・3・4前		2		○								兼1	隔年
		ドイツ語圏の社会と文化	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		フランス語圏の社会と文化	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		中国社会学論	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		台湾文化論	1・2・3・4前		2		○								兼1	隔年
		日本文化論	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		外国人留学生のための日本事情B	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		異文化交流論	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		人文学入門（総合）	1・2・3・4前		2		○								兼6	
		教育と経済	1・2・3・4前		2		○								兼1	隔年
		教育と経済開発	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		一橋大学の歴史	1・2・3・4前		2		○								兼5	
		ジェンダーと人権	1・2・3・4後		2		○								兼2	
		教育心理学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		囲碁－文化としての戦略思考－	1・2・3・4後		1		○								兼1	
		英語圏地域文化論A	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		英語圏地域文化論B	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		ドイツ語圏地域文化論	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		スペイン語圏地域文化論（中南米）	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		スペイン語圏地域文化論（スペイン）	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		アラビア語圏地域文化論A	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		世界の言語文化入門ⅠA	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		世界の言語文化入門ⅡA	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		世界の言語文化入門ⅠB	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		日本文学	1・2・3・4後		2		○								兼1	隔年
		Special Topics in Liberal Arts	1・2・3・4前・後		2		○								兼1	
		Seminar on Humanities	1・2・3・4前・後		2		○								兼1	
		小計（27科目）	－	0	64	0			0	0	0	0	0	0	兼30	
	異文化 交流	海外留学スキル・トレーニング	1・2・3・4後		2		○								兼1	集中
		海外留学と国際教育交流	1・2・3・4前		2		○								兼3	
		異文化交流研修（春季・スペイン企業派遣）	1・2・3・4休		7		○								兼1	
		異文化交流研修（春季・マレーシア工科大学）	1・2・3・4休		4		○								兼1	
			小計（4科目）	－	0	15	0			0	0	0	0	0	0	兼3
キャリア 教育 目録 外語 教育 研究	如水ゼミ	2・3・4前・後			2									兼1		
	小計（1科目）	－	0	0	2			0	0	0	0	0	0	兼1		
	教養ゼミナールA	1・2・3・4前		2		○								兼8		
	教養ゼミナールB	1・2・3・4後		2		○								兼2		
	小計（2科目）	－	0	4	0			0	0	0	0	0	0	兼8		
演習	共通ゼミナール	3・4通		4		○								兼23		
	小計（1科目）	－	0	4	0			0	0	0	0	0	0	兼23		
国際 交流 科目	Japanese Language	Introduction to Japanese Language	1・2・3・4前		3		○								兼4	
		Basic JapaneseⅠ	1・2・3・4前		5		○								兼5	
		Basic JapaneseⅡ	1・2・3・4後		5		○								兼5	
		Comprehensive Japanese for Beginners	1・2・3・4前・後		3		○								兼3	
		Intermediate JapaneseⅠ	1・2・3・4前		2		○								兼2	
		Intermediate JapaneseⅠ Reading	1・2・3・4後		1		○								兼1	
		Intermediate JapaneseⅠ Writing	1・2・3・4後		1		○								兼1	
		Intermediate JapaneseⅠ Speaking	1・2・3・4後		1		○								兼1	
		Intermediate JapaneseⅠ Kanji & Vocabulary	1・2・3・4前		1		○								兼1	
		Intermediate JapaneseⅡ	1・2・3・4後		2		○								兼2	
		小計（10科目）	－	0	24	0			0	0	0	0	0	0	兼13	
	Japanese Affairs	Explore Japan	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		Japanese Culture A	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		Japanese Culture B	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		Japanese Education A	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		Japanese Education B	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		Japanese History	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		Japanese Society	1・2・3・4前・後		2		○								兼1	
		Japanese Management	1・2・3・4前・後		2		○								兼2	
		Japanese Business	1・2・3・4前・後		2		○								兼5	
		Japanese Economy	1・2・3・4前・後		2		○								兼1	
	小計（10科目）	－	0	20	0			0	0	0	0	0	0	兼13		
	Academic Skills in English	Academic EnglishⅠ	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		Academic Skills and Student Development	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		Academic Writing in EnglishⅠ	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		Academic Writing in EnglishⅡ	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		Presentation Skills in EnglishⅠ	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		Presentation Skills in EnglishⅡ	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		小計（6科目）	－	0	12	0			0	0	0	0	0	0	兼2	
	Special Topics Ⅰ	Special Topics in Social Sciences	1・2・3・4前・後		2		○								兼2	
		World Affairs	1・2・3・4前・後		2		○								兼2	
		小計（2科目）	－	0	4	0			0	0	0	0	0	0	兼4	

基礎となる学部

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
ソーシャル・データサイエンス学部 教育科目	ソーシャル・データサイエンス入門Ⅰ	1前	2			※			1					※演習
	ソーシャル・データサイエンス入門Ⅱ	1後	2			※			1					※講義
	ソーシャル・データサイエンスの法と倫理	2前	2			○			1					
	小計（3科目）	—	6	0	0				3	0	0	0	0	0
	社会科学入門（経営学）	1・2前		2		○								兼1 隔年
	社会科学入門（マーケティング）	1・2後		2		○								兼2 隔年
	社会科学入門（会計学）	1・2前		2		○								兼2 隔年
	社会科学入門（金融）	1・2後		2		○								兼1 隔年
	社会科学入門（経済学）	1・2③		2		○								兼1
	小計（5科目）	—	0	10	0				0	0	0	0	0	兼8
	社会科学入門（法学）	1・2①		2		○								兼1
	社会科学入門（社会学）	1・2①		2		○								兼1
	社会科学入門（歴史学）	1・2②		2		○								兼1 集中
	小計（3科目）	—	0	6	0				0	0	0	0	0	兼3
	経営戦略論とデータサイエンス	2・3①		2		※				1				※演習
	マーケティングとデータサイエンス	2・3②		2		○				1				
	ファイナンスとデータサイエンス	2・3③		2		○			1					
	ミクロ経済学とデータサイエンス	2・3④		2		○			1					
	マクロ経済学とデータサイエンス	2・3①		2		○								兼1
	小計（5科目）	—	0	10	0				2	2	0	0	0	兼1
	行政法とデータサイエンス	2・3②		2		○			1					
	政治学とデータサイエンス	2・3③		2		○				1				
	国際政治とデータサイエンス	2・3②		2		○								兼1 集中
	心理学とデータサイエンス	2・3④		2		○				1				
	小計（4科目）	—	0	8	0				1	2	0	0	0	兼1
	回帰分析Ⅰ	2・3①	2			○				1				
	回帰分析Ⅱ	2・3③		2		※				1				※演習
	因果推論	2・3③		2		○								
	数理統計学	2・3②		2		※				1				※演習
	公的統計	2・3②		2		※								兼1 演習
	小計（5科目）	—	2	8	0				1	3	0	0	0	兼1
	実践的機械学習Ⅰ	2・3①	2			※				1				※講義
	実践的機械学習Ⅱ	2・3②		2		※								※講義
	A I（人工知能）	2・3②		2		※				1				※演習
	ベイズ統計学Ⅰ	2・3④		2		○				1				
	小計（4科目）	—	2	6	0				1	3	0	0	0	0
	プログラミングⅠ	2・3後	2			○			1	1				
	プログラミングⅡ	2・3前		2		※				2				※講義
	アルゴリズム	2・3①		2		※			1					※演習
	データ可視化	2・3④		2		※			1					※演習
	データベース	2・3③		2		※				1				※講義
	データハンドリング	2・3③		2		※				1				※講義
	小計（6科目）	—	2	10	0				2	3	0	0	0	0

基礎となる学部

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ソーシャル・データサイエンス学部 学部発展科目	学部発展科目 (ビジネス・インベスティガション分析科目)	データに基づく経営意思決定	3・4①		2		※			1					※演習
		技術経営論	3・4②		2		○							兼1	集中
		マーケティングサイエンス	3・4②		2		※			1					※演習
		先端情報システム論	3・4④		2			※		1					※講義
		空間・不動産データ分析	3・4③		2		※		1						※演習
		金融市場データ分析	3・4②		2		※		1						※演習
		小計 (6科目)	—	0	12	0			2	3	0	0	0	兼1	
		エビデンスに基づく科学技術政策	3・4②		2		※		1						※演習
		長期経済統計と日本経済のデータ分析	3・4後		2		※							兼1	※演習
		計量政治学	3・4①		2		○			1					
ソーシャル・データサイエンス学部 学部発展科目	学部発展科目 (情報・AI科目)	医療データ分析	3・4①		2		○							兼2	オムニバス
		持続的発展のためのデータ分析	3・4②		2		○							兼1	
		小計 (5科目)	—	0	10	0			1	1	0	0	0	兼4	
		統計学Ⅰ	3・4④		2		※		1						※演習
		ノンパラメトリック分析	3・4②		2		※							兼1	集中
		質的データ分析	3・4③		2		※		1						※演習
		時系列分析	3・4①		2		○			1					
		小計 (4科目)	—	0	8	0			2	1	0	0	0	兼1	
		ベイズ統計学Ⅱ	3・4②		2		※			1					※演習
		認知科学	3・4②		2		○			1					
PBL演習科目	PBL演習科目	機械学習理論	3・4③		2		○			1					
		自然言語処理	3・4①		2			※						※講義	
		情報・サイバーセキュリティ	3・4①		2		○							兼2	オムニバス
		画像処理	3・4③		2			※		1					※演習
		小計 (6科目)	—	0	12	0			1	4	0	0	0	兼2	
		応用人工知能	3・4②		2		※		1						※演習
		小計 (1科目)	—	0	2	0			1	0	0	0	0	0	
		PBL演習A	3前		2			○		2					
		PBL演習B	3前		2			○		1	1				
		PBL演習C	3前		2			○		1					
演習科目	演習科目	PBL演習D	3後		2			○		2					
		PBL演習E	3後		2			○		1	1				
		PBL演習F	3後		2			○		1					
		小計 (6科目)	—	0	12	0			4	6	0	0	0	0	
演習科目	演習科目	主ゼミナール	3・4通	4				○	8	10					
		副ゼミナール	3・4通		4			○	8	10					
		小計 (2科目)	—	4	4	0			8	10	0	0	0	0	
		合計 (372科目)	—	48	821	2			8	10	0	0	0	兼240	
学位又は称号		学士 (ソーシャル・データサイエンス)			学位又は学科の分野			経済学関係、工学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
(卒業要件)							1 学年の学期区分				4期				
4年以上在学し、124単位以上を修得し、かつ科目区分ごとの卒業要件単位数を修得するとともに、グローバル教育ポートフォリオ (※) を修了した上で、学士論文試験に合格すること。							1 学期の授業期間				7週				
							1 時限の授業時間				105分				

基礎となる学部

(科目区分ごとの卒業要件単位数)

【全学共通教育科目】 32単位以上

外国語 16単位以上

外国語のうち、「PACE I」、「PACE II」(計8単位)を必修とする。

数理・情報 16単位以上

数理・情報のうち、「線形代数Ⅰ」、「線形代数Ⅱ」、「微分積分Ⅰ」、「微分積分Ⅱ」、「統計」、「プログラミング基礎」、「情報リテラシー」、「AI入門」(計16単位)を必修とする。

【ソーシャル・データサイエンス学部教育科目】 62単位以上

学部導入科目 14単位以上

学部導入科目のうち、「ソーシャル・データサイエンス入門Ⅰ」、「ソーシャル・データサイエンス入門Ⅱ」、「ソーシャル・データサイエンスの法と倫理」(計6単位)を必修とする。

加えて、社会科学科目(経営学・経済学系)群(「社会科学入門(経営学)」、「社会科学入門(マーケティング)」、「社会科学入門(会計学)」、「社会科学入門(金融)」、「社会科学入門(経済学)」)及び、社会科学科目(法学・政治学・その他の社会科学系)群(「社会科学入門(法学)」、「社会科学入門(社会学)」、「社会科学入門(歴史学)」)から4科目(計8単位)を選択必修とする。ただし、社会科学科目(経営学・経済学系)及び社会科学科目(法学・政治学・その他の社会科学系)のそれぞれから少なくとも1科目の修得を必須とする。

学部基礎科目 10単位以上

学部基礎科目のうち、「回帰分析Ⅰ」、「実践的機械学習Ⅰ」、「プログラミングⅠ」(計6単位)を必修とする。加えて、

以下の科目を選択必修とする。

・社会科学科目(経営学・経済学系科目)群(「経営戦略論とデータサイエンス」、「マーケティングとデータサイエンス」、「ファイナンスとデータサイエンス」、「ミクロ経済学とデータサイエンス」、「マクロ経済学とデータサイエンス」)から1科目(2単位)

・社会科学科目(法学・政治学・その他の社会科学系科目)群(「行政法とデータサイエンス」、「政治学とデータサイエンス」、「国際政治とデータサイエンス」、「心理学とデータサイエンス」)から1科目(2単位)

学部発展科目 6単位以上

学部発展科目のうち、以下の科目を選択必修とする。

・社会科学科目(ビジネス・イノベーション分析科目)群(「データに基づく経営意思決定」、「技術経営論」、「マーケティングサイエンス」、「先端情報システム論」、「金融市場データ分析」、「空間・不動産データ分析」)から1科目(2単位)

・社会科学科目(社会課題解決科目)群(「エビデンスに基づく科学技術政策」、「長期経済統計と日本経済のデータ分析」、「計量政治学」、「医療データ分析」、「持続的発展のためのデータ分析」)から1科目(2単位)

・統計学科目群(「多変量解析」、「ノンパラメトリック分析」、「質的データ分析」、「時系列分析」)、情報・AI科目群(「認知科学」、「機械学習理論」、「自然言語処理」、「ベイズ統計学Ⅱ」、「情報・サイバーセキュリティ」、「画像処理」)又はプログラミング科目群(「応用人工知能」)から1科目(2単位)

PBL演習科目 4単位以上

PBL演習科目群(「PBL演習A～F」)から2科目(4単位)を必修とする。

演習科目 8単位以上

「主ゼミナール」(3、4年次、通年各4単位の計8単位)を必修とする。

その他の【ソーシャル・データサイエンス学部教育科目】 20単位以上

【他学部教育科目】 6単位以上

ソーシャル・データサイエンス学部以外の2学部以上にわたって6単位を修得。

【自由選択科目】 24単位以上

ソーシャル・データサイエンス学部教育科目、全学共通教育科目及び他学部教育科目から修得。ただし、上記科目区分ごとの卒業要件単位を除く。

(履修科目の登録の上限)

各学期14単位、年間44単位を履修登録単位数の上限とする。ただし、一部の成績優秀者(前年度末における累積GPAが3.8以上の者)については、各学期16単位、年間48単位を履修登録単位数の上限とする。

(※)グローバル教育ポートフォリオの修了要件:①初年次英語スキル教育(「PACE I」、「PACE II」)*科目区分ごとの卒業要件

単位数以外の卒業要件に含む)及び②短期語学留学、語学集中研修、短期海外留学(サマースクール)、長期海外留学、海外インターンシップ、ゼミを中心とした海外調査・インターゼミ等、の両方を満たす。ただし、英語プレイスメントテスト(TOEFLーITPテスト)のスコアが一定水準以上の学生は②のプログラムの受講を免除される。

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校(の)の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校(の)の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

基礎となる修士課程

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(ソーシャル・データサイエンス研究科ソーシャル・データサイエンス専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ソ ー シ ャ ル ・ デ ー タ サ イ エ ン ス 研 究 科 教 育 科 目	ソーシャル・データサイエンス特論	1①	2			※		1						※講義	
	データサイエンスのELSI	1前	2			○		1							
	小計（2科目）	—	4	0	0			2	0	0	0	0	0		
	統計分析発展（実践）	1前	2			※		1						※講義	
	統計分析発展（学術）	1前	2			○			1						
	機械学習発展（実践）	1後	2			※			1					※講義	
	機械学習発展（学術）	1後	2			○			1						
	小計（4科目）	—	0	8	0			1	3	0	0	0	0		
	高頻度資産価格データ分析	1・2前	2			※		1						※演習	
	ベイズ統計学によるマーケティング分	1・2前	2			※			1					※演習	
	ビッグデータと指数理論	1・2③	2			※		1						※演習	
	ビッグデータによる経済予測	1・2①	2			※			1					※演習	
	サービス工学	1・2後	2			○								兼1	
	DXイノベーション	1・2④	2			○								兼1	
	小計（6科目）	—	0	12	0			2	2	0	0	0	0	兼2	
	空間情報を用いた社会・経済分析	1・2前	2			※			1					※演習	
	超高齢社会と科学技術	1・2後	2			※		1						※演習	
	認知社会シミュレーション	1・2前	2			※		1						※演習	
	技術と法	1・2④	2			○		1							
	政治学の実証分析	1・2③	2			※			1					※演習	
	政策評価の計量分析	1・2③	2			※		1						※演習	
	小計（6科目）	—	0	12	0			4	2	0	0	0	0		
	リサーチ・ワークショップⅠ	2前	2			○		1							
	リサーチ・ワークショップⅡ	2後	2			○		1							
	小計（2科目）	—	0	4	0			1	0	0	0	0	0		
	演習科目	演習	1・2前・後	2			○		8	10					
		副演習	1・2前・後	2			○		8	10					
		研究指導	1・2前・後	1			○		8	10					
	小計（3科目）	—	3	2	0			8	10	0	0	0	0		
合計（23科目）		—	7	38				8	10	0	0	0	0	兼2	
学位又は称号		修士（ソーシャル・データサイエンス）	学位又は学科の分野				経済学関係、工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
(修了要件) 2年以上在学し、30単位以上、かつ科目区分ごとの修了要件単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。							1 学年の学期区分				4期				
							1 学期の授業期間				7週				
							1 時限の授業時間				105分				
(科目区分ごとの修了要件単位数) 〔ソーシャル・データサイエンス基礎科目〕 4単位以上 ソーシャル・データサイエンス基礎科目のうち、「ソーシャル・データサイエンス特論」、「データサイエンスのELSI」（計4単位）を必修とする。 〔データサイエンス科目〕 4単位以上 「統計分析発展（実践）」、「統計分析発展（学術）」、「機械学習発展（実践）」、「機械学習発展（学術）」から2科目（計4単位）を選択必修とする。 〔ソーシャル・データサイエンス発展科目 又は リサーチ・ワークショップ〕 10単位以上 ソーシャル・データサイエンス発展科目（「ビジネス・イノベーション分析科目」（「高頻度資産価格データ分析」、「ベイズ統計学によるマーケティング分析」、「ビッグデータと指数理論」、「ビッグデータによる経済予測」、「サービス工学」、「DXイノベーション」）、「社会課題解決科目」（「空間情報を用いた社会・経済分析」、「超高齢社会と科学技術」、「認知社会シミュレーション」、「技術と法」、「政治学の実証分析」、「政策評価の計量分析」））（各2単位）又はリサーチ・ワークショップ（「リサーチ・ワークショップⅠ・Ⅱ」）（各2単位）から10単位以上を選択必修とする。なお、「ビジネス・イノベーション分析科目」及び「社会課題解決科目」の各分類から各最低1科目の修得を必須とする。 〔演習科目〕 12単位以上 「演習」（1、2年次の春夏学期及び秋冬学期、各2単位の計8単位）及び「研究指導」（1、2年次の春夏学期及び秋冬学期、各1単位の計4単位）を必修とする。															

基礎となる修士課程

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校学科の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

授 業 科 目 の 概 要				
(ソーシャル・データサイエンス研究科ソーシャル・データサイエンス専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ソーシャル・データサイエンス科目群	SDS研究方法論Ⅰ 責任ある科学技術イノベーション	○	ソーシャル・データサイエンスは、研究成果の社会実装に密接に関連することから、その研究の実践にあたっては、「データ収集・使用の倫理」「新しい技術やイノベーションが社会、経済、環境に与える潜在的な影響」「利害関係者や幅広い一般市民との関わり」などに配慮する必要がある。本授業科目を通じて、学生は「責任ある科学技術イノベーション」、すなわち、新しい技術やイノベーションが社会、経済、環境に与える潜在的な影響を考慮し、否定的な結果を軽減するため、新しい科学技術の進歩を、社会的責任と倫理的な方法で開発・展開することを学修する。	
	SDS研究方法論Ⅱ 研究開発マネジメント論	○	ソーシャル・データサイエンスの研究では、社会科学の理論や手法とデータサイエンスの技術を組み合わせて複雑な社会問題に取り組むことになる。その研究開発プロジェクトの推進にあたっては、「研究開発マネジメントのベストプラクティスに関する知識」「プロジェクト管理のスキル」「予算管理のスキル」「資源配分のスキル」などが必要となる。本授業科目を通じて、学生は研究開発プロジェクトを効果的に管理するために必要なスキルと知識を修得し、学術と実践の間のギャップを埋め、学際的なチームで効果的に働き、様々な分野のステークホルダーと協働できるようになる。	
	SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅠ	○	現実社会の課題解決を扱うソーシャル・データサイエンスの分野では、学術及び実務にかかる最先端の知識が日進月歩で生まれている。本科目では、ソーシャル・データサイエンスの最先端の知識を創出している研究者・実務家を学内外から招聘し、ワークショップ形式で行う本授業科目を通じて、学生に最先端の知識とそれを創出するための方法を身につけさせる。 本授業科目は、ソーシャル・データサイエンスという学問分野を構成する以下の4種類の融合領域ごとに担当者を割り当て、受講者の研究テーマに応じた内容の報告を行う。各教員の担当回数は、受講者の研究テーマにより、1回又は0回となる（初回ガイダンス（担当：渡部敏明）で決定）。 [ビジネス・イノベーション領域×統計学領域] 1渡部 敏明、10植松 良公、11加藤 諒、14永山 晋 [ビジネス・イノベーション領域×情報・AI領域] 2七丈 直弘、6鈴木 真介、15谷田川 達也、18坂野 遼平 [社会課題解決領域×統計学領域] 3清水 千弘、7今井 晋、13城田 慎一郎、17Woo Yu Jin [社会課題解決領域×情報・AI領域] 4檜山 敦、5寺田 麻佑、8小町 守、9福田 玄明、12樺 惇志、16本武 陽一	オムニバス方式 ※各教員の担当回数は、受講者の研究テーマにより、1回又は0回となる
	SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅡ	○	現実社会の課題解決を扱うソーシャル・データサイエンスの分野では、学術及び実務にかかる最先端の知識が日進月歩で生まれている。本科目では、ソーシャル・データサイエンスの最先端の知識を創出している研究者・実務家を学内外から招聘し、ワークショップ形式で行う本授業科目を通じて、学生に最先端の知識とそれを創出するための方法を身につけさせる。 本授業科目は、ソーシャル・データサイエンスという学問分野を構成する以下の4種類の融合領域ごとに担当者を割り当て、受講者の研究テーマに応じた内容の報告を行う。各教員の担当回数は、受講者の研究テーマにより、1回又は0回となる（初回ガイダンス（担当：渡部敏明）で決定）。 [ビジネス・イノベーション領域×統計学領域] 1渡部 敏明、10植松 良公、11加藤 諒、14永山 晋 [ビジネス・イノベーション領域×情報・AI領域] 2七丈 直弘、6鈴木 真介、15谷田川 達也、18坂野 遼平 [社会課題解決領域×統計学領域] 3清水 千弘、7今井 晋、13城田 慎一郎、17Woo Yu Jin [社会課題解決領域×情報・AI領域] 4檜山 敦、5寺田 麻佑、8小町 守、9福田 玄明、12樺 惇志、16本武 陽一	オムニバス方式 ※各教員の担当回数は、受講者の研究テーマにより、1回又は0回となる

SDS共同プロジェクト演習 I	○	現実社会において、ソーシャル・データサイエンスの最先端の研究成果を社会実装し、ビジネス・イノベーションや社会課題解決に貢献できるようにするためには、具体的な共同プロジェクトに参加して、研究開発マネジメントの実践的経験を積むことが重要である。本科目では、学生の研究テーマと合致した共同プロジェクトを遂行可能な協力機関（本研究科教員と共同プロジェクトの実績がある民間企業・公的セクター等）を選定し、学生に協力機関との共同プロジェクトを遂行させる。 本授業科目は、ソーシャル・データサイエンスという学問分野を構成する以下の4種類の融合領域ごとに教員を割振り、受講者の研究テーマと協力機関の業種等をふまえて担当者（主指導教員または副指導教員）により助言・指導を行う。 [ビジネス・イノベーション領域×統計学領域] 1渡部 敏明、10植松 良公、11加藤 諒、14永山 晋 [ビジネス・イノベーション領域×情報・AI領域] 2七丈 直弘、6鈴木 真介、15谷田川 達也、18坂野 遼平 [社会課題解決領域×統計学領域] 3清水 千弘、7今井 晋、13城田 慎一郎、17Woo Yu Jin [社会課題解決領域×情報・AI領域] 4檜山 敦、5寺田 麻佑、8小町 守、9福田 玄明、12樺 惇志、16本武 陽一	
SDS共同プロジェクト演習 II	○	現実社会において、ソーシャル・データサイエンスの最先端の研究成果を社会実装し、ビジネス・イノベーションや社会課題解決に貢献できるようにするためには、具体的な共同プロジェクトに参加して、研究開発マネジメントの実践的経験を積むことが重要である。本科目では、学生の研究テーマと合致した共同プロジェクトを遂行可能な協力機関（本研究科教員と共同プロジェクトの実績がある民間企業・公的セクター等）を選定し、学生に協力機関との共同プロジェクトを遂行させる。 本授業科目は、ソーシャル・データサイエンスという学問分野を構成する以下の4種類の融合領域ごとに教員を割振り、受講者の研究テーマと協力機関の業種等をふまえて担当者（主指導教員または副指導教員）により助言・指導を行う。 [ビジネス・イノベーション領域×統計学領域] 1渡部 敏明、10植松 良公、11加藤 諒、14永山 晋 [ビジネス・イノベーション領域×情報・AI領域] 2七丈 直弘、6鈴木 真介、15谷田川 達也、18坂野 遼平 [社会課題解決領域×統計学領域] 3清水 千弘、7今井 晋、13城田 慎一郎、17Woo Yu Jin [社会課題解決領域×情報・AI領域] 4檜山 敦、5寺田 麻佑、8小町 守、9福田 玄明、12樺 惇志、16本武 陽一	
SDS研究指導A	○	本授業科目では、博士論文を執筆するために必要な研究指導を行う。1年次には、指導教員・副指導教員との密なコミュニケーションの下で、研究テーマの確定、先行研究レビューや、2年次の共同プロジェクト先の選定とその準備を行う。2年次には、共同プロジェクトのフォローを行うとともに、博士論文計画の作成から提出・承認までを行う。3年次には、博士論文を完成させる。 研究指導Aは、ソーシャル・データサイエンスという学問分野を構成する4種類の融合領域のうち、[ビジネス・イノベーション領域×統計学領域]に属する研究テーマの学生を対象とし、以下の担当者がそれぞれの専門をふまえて共同指導の形態で実施する。担当者のうち、各学生の主指導教員が全体的な研究指導を担当し、それ以外の担当者は研究指導補助を担当する。 1渡部 敏明：統計学とファイナンスの融合領域に関する研究 10植松 良公：大規模データの分析手法の提案、理論構築とその社会科学への応用に関する研究 11加藤 諒：統計学と消費者行動の融合領域に関する研究 14永山 晋：統計学、計算論的手法を用いた経営現象に関する研究	集団指導

SDS研究指導B	○	本授業科目では、博士論文を執筆するために必要な研究指導を行う。1年次には、指導教員・副指導教員との密なコミュニケーションの下で、研究テーマの確定、先行研究レビューや、2年次の共同プロジェクト先の選定とその準備を行う。2年次には、共同プロジェクトのフォローを行うとともに、博士論文計画の作成から提出・承認までを行う。3年次には、博士論文を完成させる。 研究指導Bは、ソーシャル・データサイエンスという学問分野を構成する4種類の融合領域のうち、[ビジネス・イノベーション領域×情報・AI領域]に属する研究テーマの学生を対象とし、以下の担当者がそれぞれの専門をふまえて共同指導の形態で実施する。担当者のうち、各学生の主指導教員が全体的な研究指導を担当し、それ以外の担当者は研究指導補助を担当する。 2七丈 直弘：情報科学と科学技術イノベーション・政策の融合領域に関する研究 6鈴木 真介：情報科学、神経科学を用いた人間の社会経済行動に関する研究 15谷田川 達也：多次元視覚情報処理に関する基礎研究とビジネスイノベーションへの応用に関する研究 18坂野 遼平：分散コンピューティング技術とその産業応用に関する研究	集団指導
SDS研究指導C	○	本授業科目では、博士論文を執筆するために必要な研究指導を行う。1年次には、指導教員・副指導教員との密なコミュニケーションの下で、研究テーマの確定、先行研究レビューや、2年次の共同プロジェクト先の選定とその準備を行う。2年次には、共同プロジェクトのフォローを行うとともに、博士論文計画の作成から提出・承認までを行う。3年次には、博士論文を完成させる。 研究指導Cは、ソーシャル・データサイエンスという学問分野を構成する4種類の融合領域のうち、[社会課題解決領域×統計学領域]に属する研究テーマの学生を対象とし、以下の担当者がそれぞれの専門をふまえて共同指導の形態で実施する。担当者のうち、各学生の主指導教員が全体的な研究指導を担当し、それ以外の担当者は研究指導補助を担当する。 3清水 千弘：社会構造の変化に対応した各種統計による研究 7今井 晋：労働経済学・産業組織論・マーケティング・貿易論・政策評価と統計学の融合領域に関する実証研究 13城田 慎一郎：ベイズ・空間統計を用いた経済・社会課題に関する研究 17Woo Yu Jin：サーベイ実験や統計学を用いた社会課題解決（国際政治論など）に関する実証分析	集団指導
SDS研究指導D	○	本授業科目では、博士論文を執筆するために必要な研究指導を行う。1年次には、指導教員・副指導教員との密なコミュニケーションの下で、研究テーマの確定、先行研究レビューや、2年次の共同プロジェクト先の選定とその準備を行う。2年次には、共同プロジェクトのフォローを行うとともに、博士論文計画の作成から提出・承認までを行う。3年次には、博士論文を完成させる。 研究指導Dは、ソーシャル・データサイエンスという学問分野を構成する4種類の融合領域のうち、[社会課題解決領域×情報・AI領域]に属する研究テーマの学生を対象とし、以下の担当者がそれぞれの専門をふまえて共同指導の形態で実施する。担当者のうち、各学生の主指導教員が全体的な研究指導を担当し、それ以外の担当者は研究指導補助を担当する。 4檜山 敦：超高齢社会をリ・デザインするDXに関する実証研究 5寺田 麻佑：行政過程と行政組織、行政法、先端技術と法に関する比較法政策研究 8小町 守：自然言語処理を用いた人文社会科学の分析基盤の研究 9福田 玄明：情報科学、認知神経科学と人間の知覚・意思決定の融合領域に関する研究 12樺 惇志：情報アクセス技術を用いた社会課題抽出・解決に関する研究 16本武 陽一：科学技術による革新的な社会課題解決を指向するデータ駆動理学的研究	集団指導

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が40人を超えることを想定するものについてその旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合この書類を作成する必要はない。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記すること。